

神奈川県・伊勢原市

大山のまんじゅう

神奈川県有数の 観光地のひとつ大山

我が家の北東に、なだらかな三角形の山が見えます。神奈川県伊勢原市・秦野市・厚木市境にある標高1,252mの大山（おおやま）で、丹沢の山々とともに丹沢大山国定公園に属し、神奈川県有数の観光地のひとつです。

古くから庶民の山岳信仰の対象となり、信仰登山は宝暦年間(1751年～1764年)から行われ、大山講と呼ばれました。各地から通じる道は「大山道」と呼ばれ、この名は現在の国道246号の別称「大山街道」などとして残っています。江戸の庶民にとっては、大山詣と江ノ島詣のセットが娯楽の一つでした。古典落語の演題にも「大山詣で」があります。山頂には阿夫利神社本社、中腹に阿



夫利神社下社、大山寺が建ち、その下社までは山麓よりケーブルカー（とってもレトロです）が通じています。

大山の名物と言え、丹沢山系から流れる良質な水を使った豆腐と民芸品としての独楽が有名で、ケーブル駅までの石段沿いには豆腐料理店、民芸品店が軒をならべています。でも今回は、駅より少し下った細いバス通りにある老舗の和菓子屋をご紹介します。



黒糖がほんのり香る

江戸時代より大山詣の 土産品として親しまれ

大山まん志う本舗「良辨」の大山まんじゅうは、沖縄の黒糖が生地に入った薄茶色の漉し餡の薄皮まんじゅうです。甘さ程々のしっとりした一口サイズで、しかも一個80円。食べ始めると10個くらいペロ〜と！

創業130余年、江戸時代より続いている伝統の技と厳選した食材により添加物・着色料・保存料を一切使わず、むかしからの味を現在まで守り造り続けられ、江戸時代より大山詣の土産品として親しまれています。本来は白い薄皮まんじゅうであったそうですが、黒糖を加えたところ好評を得て、今は特別でない限り黒糖がほんのり香る薄茶色のものだそうです。

手作り無添加のため日持ちは3日くらいで、土日・観光シーズンには直ぐに購入できないことがありますので、予約注文されることをお勧めします。是非、お土産・お茶受けに！

(石黒茂雄・67回記)



大山まん志う本舗「良辨」